

# 回想法センター・1月号

平成30年12月25日発行  
発行 龍ヶ崎市回想法センター  
龍ヶ崎市平台5-9-7  
電話・FAX 0297-65-4443  
e-mail: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp  
HP: www.piakaiso.sakura.ne.jp

## 年を取るってどうゆうことなの？

### 年の初めに思うこと

「あなた、歳をとるってどうゆうことか分かってる？もう人から年齢しか聞かれなくなる、ってことよ」ある有料老人ホームの入居者が漏らした言葉だそうです。その人がどんな人生を歩いてきたか、何に関心があるのかなど訊かれずに「お元気ですね」「お若いすネ」などと言われ続けられるうち、しまいに腹が立ってきたきたと。

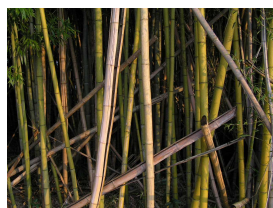
リブラというスーパーの一角で笑顔屋さんを月に4、5回開催してます。いろいろな方がちょっと立ち止まって雑談をしてくれますが、何処から来たの？幾つ？などそんなことは聞きません。立ち止まってくれたお客様として他愛のないおしゃべりをし、笑顔を持ち帰ってもらっています。ここにきたら誰でも皆同じだよと、懐かしい友達に出あったように話が弾み時間があっという間に過ぎて行きます。あそこに行けば話が出来るそんな地域の居場所になればと思っています。



### 過疎化の歯止めになれば

ないと困るうわけでもないが、どんぶりの端にその姿があると何とわなしに安心感を覚えるラーメンの具「メンマ」。子供の頃チャルメラの音が聞こえると、兄と一緒にどんぶりを持って屋台へ。シナ竹(当時はメンマと言わなかった)の触感が大好きで、兄と仲良く食べた思い出があります。

国内のメンマは長いこと中国、台湾産が占めていましたが、福岡県糸島市の男性が放置された竹林に目を付け、1mほどの若竹を柔らかくゆでて『塩加減、発酵、干し方』など失敗を繰り返しながら試行錯誤の末にシナ竹を作り揚げ軌道にのせた奮闘ぶりが報じられ、大学や自治体からの視察が相次ぎました。昨年暮れ、京都で開いた「純国産メンマプロジェクト」の初会合には、予想を上回る22都道府県から官民の参加があったそうです。竹は、カゴやザル、住宅の壁材などの使い道が減り、あちらこちらで竹藪は荒れ放題。国産メンマが広がれば自治体を悩ます竹害問題を解決できるだろうし、地元は活気を取り戻せるだろう。食は命の源。身近な資源を見直すきっかけになれば良いなど。



### 1月の予定

1月16日(水) 笑顔屋	2時～4時	ショッピングセンターリブラ1階
1月18日(金) 認知症家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
1月27日(日) 映画鑑賞会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708 担当 赤嶺